

放送番組審議会議事録

- 1 開催年月日 平成20年5月29日(木) 19:30～20:45
- 2 開催場所 奄美市名瀬金久町4番3号 特定非営利活動法人ディ会議室
- 3 出席委員 委員総数 7名
出席委員数 6名
出席委員の氏名 西平功／師玉俊朗／佐竹京子／別府亮
永江直志／町ゆかり
欠席委員の氏名 重信千代乃
放送事業者側出席者名 麓憲吾／丸田泰史／嘉川孝之／
中原優子／小野健太郎／水間由里子

4 議題

- (1) 「島クイズ 信金グッドタイム」について
- (2) 一般聴取者の意見、要望等
- (3) その他

5 議事の概要

昼12:00～13:00に放送の生ワイド番組「ヒマバン・ミショシーナ」内で放送している、リスナーが電話でクイズに挑戦するコーナー「島クイズ 信金グッドタイム」を主な議題として審議。コーナーでは奄美群島に関する問題を3問出題し、全問正解の場合はスポンサーより図書カードのプレゼントがある。クイズの出題方法や難易度等について意見が寄せられた。一般聴取者の意見、要望等ではおみやみ情報、料理番組への意見、混信報告等があった。その他では、ネットラジオの整備、沖縄含め、充実した意見が寄せられた。

6 審議内容

- (1) 「島クイズ 信金グッドタイム」について

放送局・中原よりコーナーについて説明があり、過去の放送を聞き、意見を伺った。

佐竹委員

挑戦者が真面目に取り組むので、面白い。

町委員

コーナーの頭に「信金プレゼント」等をうたうと、どこの提供かわかりやすい。

永江委員

挑戦者を探すのが大変。

師玉委員

クイズの出典元は言っているが、「今日の問題は〇〇の第〇問目でした」までアナウンスをすると、復習が出来ていいのでは。

別府委員

スポンサーに対して様をつけるのは。

一放送局 中原

現在「〇〇の提供でお送りします」の提供コールの際はつけず、コーナー内で「〇〇様より図書カードをプレゼントします」の時には「様」をつけている。

師玉委員

通常の放送では、聞いている人に対しては「様」なしで紹介している。一般リスナーに対してのイメージもあり、「様」がつく事に対して抵抗のあるスポンサーもいると思うので、確認をしたほうがいい。

西平委員長

問題は人に合わせて途中で替えているのか。

その人のキャラクターに合った出題をしていて、よく考えている。

町委員

開局当初に聞いた時は、名前、住まい、仕事などプライベートを根掘り葉掘り聞かれていて嫌だと感じた。

西平委員長

1 問目から失敗するとテンションが下がる。また小学生が作った問題などの出題は。

一放送局 中原

1 問目、2 問目は簡単に、3 問目を難しくするようにしている。子供たちの出題に関しては、学校の先生に個人的にお願いしているが、難しい。

西平委員長

クイズを作るためには根拠をしっかりと調べないといけないから、意外と難しい。

一放送局 中原

ボランティアパーソナリティの上原幸三郎さんは、毎回、ご自身で問題を作っている。

町委員

子供の声そのもので出題をしてもいいと思う。

(2) 一般聴取者の意見、要望等

- ・島クイズに関して「ヒントが簡単すぎる。一緒に考えたいのに、誰でもわかる、答えのようなヒントを出されるとつまらない」という意見

別府委員

出題から解答まで間があるのも、今日聞いてみて初めて意味がわかった。(サンプルではフライングして、間を待たずに解答してしまっていた) リスナーも一緒に考える時間なんだと。

永江委員

ものすごい簡単なヒントを言っていて、これは答えだろうと思う時があったが、逆に面白かった。

一放送局 水間

解答者が緊張していて、どんなに簡単なヒントを出しても答えられない時がある。

西平委員長

それはそれで面白い。

- ・E スポ現象の報告について

-放送局 麓

今年も新潟 FM の混信を確認している。周波数変更の準備を進めたい。

- ・おくやみ情報について「当事者でない場合、不快に感じる」という意見について

町委員

コミュニティとして必要な情報。転勤者か、地域性に馴染みの薄い人の意見では。

師玉委員

MBC でもやっている。本土のもので関係ないので、たまに音を絞る時もある。

また、奄美市だよりの BGM で「行きゅんにゃ加那」が使われているが、葬儀の出棺の時に使われている事があるため、反応する人もいる。

-放送局 麓

特定の楽曲にそういったイメージをつけたくなかったので、おくやみ情報の BGM は自分達で制作した。

永江委員

必要な情報。知らなかった時の方が困る。

西平委員長

「風呂に火をつける音が火葬場を思わせる」と、隣家から苦情が来ることもある。聞き手によっては過剰な反応もあるが、必要な情報。

-放送局 麓

開局時からやりたかったもの。地域性として有りなのではと思っているので、対策を講じていきたい。

- ・インターネットを使用したラジオの配信について

-放送局 水間

音楽著作権の問題があり実現できていない。最近になって整備が進んでいるが、今まではインターネットで配信するときに、著作権使用料を払うシステム自体がなかった。現行で配信している局は音楽や BGM はオフにし、マイクの音声のみを流しているが、番組として面白いかどうかは疑問。必ず実現したいが、開局当初から抱えているジレンマ。

別府委員

その日その日の面白いトークや音楽を使っていないコーナー等、部分的に聞かせるのは。

-放送局 嘉川

手間をかければ出来る事ではあるが、現状は資金も人手も不足している。営業面でも期待できるシステムが作り上げられれば実現が可能ではないか。

-放送局 麓

近い将来、必ず実現させたい。

- ・料理コーナーのレシピ、写真のホームページ掲載要望について

-放送局 水間

レシピは食生活改善推進員の方などに提供していただいているものもあり、全て自分で作って検

証している訳ではないので、写真まではなかなか揃わないが、準備をしている。以前審議会でも意見のあった分量についても、よりわかりやすい表現を加えた上で掲載したい。

別府委員

「おいしいみたいです」という他人事のような表現が気になることがあった。もっと自信を持って言い切って欲しい。

一放送局 水間

原稿を起こしているのは自分だが読むのはパーソナリティで、それぞれ好き嫌いもあるのかなと思う。原稿ではそういった表現はしていないので、そのまま読むようお願いしたい。

(3)その他

師玉委員

放送で「ネットで調べました」と聞く事がある。著作権の問題があるのでは。また、信憑性にも問題がある。ネットで一番多い情報だからといって、正しい情報とは限らない。

町委員

図書館に電話し、調べてもらうことは出来るのでは。

西平委員長

職場体験学習の生徒の出演、また、ちびっ子レポーターが良かった。新しいキャラクター。

佐竹委員

聞こえている人、聞こえていない人の割合は。全部をカバーすることはどうしたら出来るか。

一放送局 麓

家屋の中で聴取可能かどうかの調査は難しい。エリアの拡大では、別な場所にアンテナを建てることは可能だが、同じ周波数同士は、ぶつかると打消し合ってしまう、逆に聞こえない地域が出来てしまう。県域局と呼ばれる広域 FM 局は、難聴地域に別な周波数のアンテナを建ててカバーしている。コミュニティ FM は1つの周波数しか与えられず、離島という地域特性で複数波の理解を求めたが、実現できなかった。

今後、宇検村でもコミュニティ FM 開局の動きがある。もちろん別な放送局としての開局になるが、制作等で連携をしていきたい。

佐竹委員

運営面も心配している。FM と映画館は何としても残していきたい。

一放送局 麓

会員の更新も大事だが、5名体制で1年間やってきて、非常に厳しいスケジュールというのが実情。広告の売上増や、会員の募集など、人手を増やしていきつつ、ボランティアの体制も整えて、建設的に進めて行きたい。

放送では、島のことを伝えたいというテーマがある。島で色々な活動をしている方に、自分達で番組を制作できるようにサポートして、タイムテーブルを埋めて行きたい。

町委員

現在東京の番組（島出身者の我那覇美奈の番組）が放送されているが、それ以外に東京と結んでいる所は。

一放送局 麓

現在（放送中の我那覇美奈さんの番組の他に）中孝介君の番組放送を交渉している。また、日曜

の「ラジオレター」で、内地で頑張っている人と電話で繋ぐなどしている。

ー放送局 中原

4月から、朝の生放送で奄美群島内の各市町村役場、施設等とも電話でつないでいる。色々な声が聞こえるようにしたい。

町委員

沖縄とも、ぜひつないでほしい。沖縄の人は奄美の事を知らないし、奄美の人も意外と沖縄の事を知らない。情報ツールが繋がっていない。朝の番組で繋いでもいいし、私が紹介してもいい。沖縄のアナウンサーが「イモーレ、アモーレ、メンソーレ」というキャッチフレーズを提案してくれた。ぜひそういった番組を作って欲しい。

佐竹委員

奄美に沖縄の人が来ると、緑の多さにびっくりする。異国に来たような顔をしている。

町委員

山の上に家がない、という事にびっくりする。

ー放送局 水間

自分は奄美に来て「奄美は沖縄とは違う」という反発のような感じを受け、驚いた。言葉や自然、気候も島々の違いはあるが共通性があるという価値観を持っていたが。

師玉委員

奄美の人は沖縄の島々は兄弟島と思っているが、沖縄では、奄美は「内地（日本本土、琉球文化圏ではない場所という意味合い）」と思われている。沖縄の方が線を引いている感じを受ける。

別府委員

母からは「兄弟島」という言葉を聞くが、鹿児島寄りの教育を受けた若い世代は「違う」という思いを持っているのでは。

7 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日 なし

これまで数人のリスナーより、昼の生番組「ヒババン・カディーナ！」の「ヒババン」（昼ご飯、の意）について、方言の発音の表記として「ヒマバン」の方が近いのではないかと、また「カディーナ」については、「食ったか」というようなニュアンスで目下に対してつかう言葉との指摘があった。召し上がりましたか、というニュアンスの「ミショシーナ！」が適切であると考え、4月1日より番組名を「ヒマバン・ミショシーナ！」に変更した。

8 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

- ① 自社放送：平成20年7月5日(土曜日)17:30ー「ゆぶいニング・アワー」番組内で放送
- ② 書面の備置き：平成20年7月1日(月曜日)から、当該事項を記載した書面（議事録）を当法人事務局へ備置き、聴取者の閲覧希望に対応
- ③ インターネット：平成20年7月4日(金曜日)より当法人インターネットのホームページに掲載

9 その他の参考事項 なし